



A コマンド

この章では、コマンド名が A で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

abort (Call home)

設定を適用せずに Call home Cisco Fabric Services (CFS) コンフィギュレーション セッションを削除するには、**abort** コマンドを使用します。

abort

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

Call Home コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

abort コマンドは、CFS ファブリック ロックが取得されるデバイス上でのみ、サポートされます。このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、Call Home CFS 設定を強制終了する例を示します。

```
switch(config-callhome)# abort
switch(config-callhome)# show callhome session status
Last Action Time Stamp      : Mon Dec 22 17:34:37 2008
Last Action                  : Abort
Last Action Result          : Success
Last Action Failure Reason  : none
```

関連コマンド

コマンド	説明
show session status	最後のアクションおよびその結果を含む、現在の CFS コンフィギュレーションセッションのステータスを表示します。
callhome	Call Home コンフィギュレーション モードを開始します。
callhome distribute	Call Home コンフィギュレーションの CFS 配信をイネーブルにします。

abort (セッション マネージャ)

設定を適用せずに、セッション マネージャのコンフィギュレーション セッションを削除するには、**abort** コマンドを使用します。

abort

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

セッション コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、セッション マネージャのコンフィギュレーション セッションを強制終了し、強制終了されたセッションを表示する例を示します。

```
switch(config-s-acl)# abort
switch# show configuration session ACL_permit_tcp
ERROR: Session not found
switch# show configuration session summary
There are no active configuration sessions
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration session	最後のアクションおよびその結果を含む、現在の CFS コンフィギュレーション セッションのステータスを表示します。
show configuration session summary	コンフィギュレーション セッションの要約を表示します。

action cli

Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベント マネージャ) アプレットが起動されたときに実行される Virtual Shell (VSH) コマンド ストリングを設定するには、**action cli** コマンドを使用します。VSH コマンド ストリングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
action label cli [local] vsh_cmd
```

```
no action label cli
```

構文の説明

<i>label</i>	一意な識別子（任意のストリング値を指定できます）。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
local	(任意) イベントが発生したのと同じモジュール内で action が実行されるようにします。
<i>vsh_cmd</i>	アプレットが起動されたとき実行される VSH コマンド ストリング。

デフォルト

なし

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM アプレットが起動されたときに実行される VSH コマンド ストリングを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet cli-applet
switch(config-applet)# action 1.1 cli callhome send eem subject "port down" body "acme
port is down"
switch(config-applet)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
event manager applet	組み込み型イベント マネージャ (EEM) でアプレットを登録します。

action counter

組み込み型イベント マネージャ (EEM) が起動されたときに、名前付きカウンタを設定または変更するには、**action counter** コマンドを使用します。カウンタをデフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
action label counter name name value value op {dec | inc | nop | set}
```

```
no action label counter name name
```

構文の説明

<i>label</i>	一意な識別子 (任意の文字列値を指定できます)。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。文字列に空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
name <i>name</i>	カウンタの名前を指定します。この識別子には任意の文字列を指定できません。
value <i>value</i>	カウンタの値を指定します。この識別子は -2147483648 ~ 2147483647 の整数値 (境界値も含む)、またはプレフィックス \$ の付いた名前 (パラメータで置換される) でなければなりません。
op	カウンタに対して実行する操作を指定します。
dec	指定された値だけカウンタを増分します。
inc	指定された値だけカウンタを減分します。
nop	何もしません。このキーワードを使用すると、単に指定した値が表示されます。
set	指定された値にカウンタを設定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、*counter-applet* という名前の EEM が起動されたとき、*\$variable* の値をカウンタ *count1* に設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet counter-applet
switch(config-applet)# action 1.2 counter name count1 value $variable op dec
switch(config-applet)#
```

action event-default

組み込み型イベント マネージャ (EEM) アプレットが起動されたときに、イベントのデフォルトのアクションが実行されるように指定するには、**action event-default** コマンドを使用します。デフォルトアクションをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

action label event-default

no action label event-default

構文の説明

label 一意な識別子 (任意のストリング値を指定できます)。アクションは、*label* をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。

デフォルト

なし

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

発生したイベントでデフォルトのアクションを処理できるようにする場合は、デフォルトのアクションを許可する EEM ポリシーを設定する必要があります。たとえば、**match** 文で CLI コマンドを照会する場合、EEM ポリシーに **event-default** 文を追加する必要があります。追加しなかった場合、EEM では、CLI コマンドを実行できません。**terminal event-manager bypass** コマンドを使用すると、CLI が一致するすべての EEM ポリシーで、CLI コマンドを実行できます。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM アプレットが起動されたとき、イベントのデフォルトのアクションが実行されるように指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet default-applet
switch(config-applet)# action 1.15 event-default
switch(config-applet)#
```

action exceptionlog

組み込み型イベント マネージャ (EEM) アプレットが起動されたとき、特定の条件が満たされたら、例外をログに記録するには、**action exceptionlog** コマンドを使用します。例外の記録を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
action label exceptionlog module module syserr error devid id errtype type errcode code
phylayer layer ports list harderror error [desc string]
```

```
no action label exceptionlog module module syserr error devid id errtype type errcode code
phylayer layer ports list harderror error [desc string]
```

構文の説明

<i>label</i>	一意な識別子 (任意のストリング値を指定できます)。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
module <i>module</i>	指定されたモジュール番号の例外を記録します。
syserr <i>error</i>	指定されたシステム エラー例外を記録します。
devid <i>id</i>	指定されたデバイス ID の例外を記録します。
errtype <i>type</i>	指定されたエラー タイプの例外を記録します。
errcode <i>code</i>	指定されたエラー コードの例外を記録します。
phylayer <i>layer</i>	指定された物理層の例外を記録します。
ports <i>list</i>	指定されたポートの例外を記録します。
harderror <i>error</i>	指定されたハード エラーの例外を記録します。
desc <i>string</i>	(任意) 例外ロギング条件の説明を指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM アプレット例外をログに記録する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet exception-applet
switch(config-applet)# action 1.2 exceptionlog module 1 syserr 0x41150010 devid 96 errtype
2 errcode 354 phylayer 0 ports 1-24 harderror false desc "r2d2 general error"
switch(config-applet)#
```


action forceshut

組み込み型イベント マネージャ (EEM) アプレットが起動されたとき、モジュール、クロスバー ASIC、またはスイッチ全体を強制的にシャットダウンするように設定するには、**action forceshut** コマンドを使用します。強制的なシャットダウンを行わないようにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

action label forceshut [{*module module* | *xbar xbar-number*}] **reset-reason string**

no action label forceshut [{*module module* | *xbar xbar-number*}] **reset-reason string**

構文の説明

<i>label</i>	一意な識別子 (任意のストリング値を指定できます)。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
module <i>module</i>	(任意) 指定されたモジュールを強制的にシャットダウンします。モジュールの範囲は 1 ~ 10 です。
xbar <i>xbar-number</i>	(任意) 指定されたクロスバー ASIC を強制的にシャットダウンします。ASIC の範囲は 1 ~ 5 です。
reset-reason <i>string</i>	強制的なシャットダウンの理由を説明するストリングを二重引用符で囲んで指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM アプレットが起動されたとき、モジュール 4 を強制的にシャットダウンするように設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet forceshut-applet
switch(config-applet)# action 1.3 forceshut module 4 reset-reason "module 4 failed"
switch(config-applet)#
```

action overbudgetshut

組み込み型イベント マネージャ (EEM) アプレットが起動されたとき、電力消費量が予想を超えたため、モジュールまたはスイッチ全体をシャットダウンするように設定するには、**action overbudgetshut** コマンドを使用します。シャットダウンの設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
action label overbudgetshut [module module]
```

```
no action label overbudgetshut [module module]
```

構文の説明

<i>label</i>	一意な識別子 (任意のストリング値を指定できます)。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
module module	(任意) 指定されたモジュールを強制的にシャットダウンします。 9slot の場合：範囲は 1 ~ 9 です。 10slot の場合：範囲は 1 ~ 10 です。 18slot の場合：範囲は 1 ~ 18 です。

デフォルト

なし

(デフォルトの動作では、slot_1 から始めて、バジェット超過状態から回復するまで、ラインカードをパワーダウンします。つまり、「利用可能な」電力がバジェット超過状態から回復するまで、両方のスーパーバイザ (アクティブおよびスタンバイ) をスキップし、すべてのスパイン/xbar をスキップし、スロット 1 以降の lc をパワーダウンします)。

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM アプレットが起動されたとき、電力消費量が予想を超えたため、モジュール 4 をシャットダウンするように設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet overbudget-applet
switch(config-applet)# action 1.4 overbudgetshut module 4
switch(config-applet)#
```

action policy-default

ポリシーのデフォルトアクションの上書きを可能にするには、**action policy-default** コマンドを使用します。デフォルトのアクションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

action label policy-default

no action label policy-default

構文の説明	<i>label</i>	一意な識別子（任意のストリング値を指定できます）。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
デフォルト	なし	
コマンド モード	Embedded Event Manager	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。	
例	次に、EEM アプレットが起動されたとき、ポリシーのデフォルトアクションの上書きを可能にする設定例を示します。	
	<pre>switch# configure terminal switch(config)# event manager applet default-applet switch(config-applet)# action 1.65 policy-default switch(config-applet)#</pre>	

action reload

組み込み型イベント マネージャ (EEM) アプレットが起動されたときの、スイッチ用ソフトウェアをリロードするアクションを指定するには、**action reload** コマンドを使用します。スイッチ用ソフトウェアをリロードするアクションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

action label reload

no action label reload

構文の説明	<i>label</i>	一意な識別子 (任意のストリング値を指定できます)。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
-------	--------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	Embedded Event Manager
----------	------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。
------------	-----------------------

例	次に、EEM アプレットが起動されたとき、スイッチ用ソフトウェアをリロードするアクションを指定する例を示します。
---	--

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet reload-applet
switch(config-applet)# action 1.5 reload
switch(config-applet)#
```

action snmp-trap

組み込み型イベント マネージャ (EEM) アプレットが起動されたとき、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップを生成するように指定するには、**action snmp-trap** コマンドを使用します。SNMP トラップをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
action label snmp-trap [intdata1 integer] [intdata2 integer] [strdata string]
```

```
no action label snmp-trap [intdata1 integer] [intdata2 integer] [strdata string]
```

構文の説明

<i>label</i>	一意な識別子 (任意のストリング値を指定できます)。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
<i>intdata1 integer</i>	(任意) SNMP トラップ メッセージによって SNMP エージェントに送信される整数を指定します。
<i>intdata2 integer</i>	(任意) SNMP トラップ メッセージによって SNMP エージェントに送信される 2 番目の整数を指定します。
<i>strdata string</i>	(任意) SNMP トラップ メッセージによって SNMP エージェントに送信されるストリングを指定します。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。

デフォルト

なし

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザーロール

ネットワーク 管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM アプレットが起動されたとき、SNMP トラップを生成するように指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet snmp-applet
switch(config-applet)# action 1.7 snmp-trap strdata "EEM detected server failure"
switch(config-applet)#
```

action syslog

組み込み型イベント マネージャ (EEM) アプレットが起動されたとき、Syslog メッセージが生成されるように設定するには、**action syslog** コマンドを使用します。Syslog メッセージをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
action label syslog [priority {prio | prio-str}] msg msg-text
```

```
no action label syslog [priority {prio | prio-str}] msg msg-text
```

構文の説明

<i>label</i>	一意な識別子 (任意のストリング値を指定できます)。アクションは、 <i>label</i> をソート キーとしてアルファベット昇順にソートおよび実行されます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。
priority	(任意) Syslog メッセージのプライオリティ レベルを指定します。このキーワードを指定しないと、すべての Syslog メッセージのプライオリティ レベルが「情報レベル」に設定されます。このキーワードを指定する場合はプライオリティ レベル引数を指定する必要があります。
<i>prio</i>	プライオリティ レベルは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • emergencies : システムが使用不可であることを指定します。 • alerts : 早急な対応が必要であることを指定します。 • critical : クリティカルな状態であることを指定します。 • errors : エラー条件を指定します。 • warnings : 警告状態を指定します。 • notifications : 正常だが重大な状態を指定します。 • informational : 情報メッセージを指定します。これはデフォルトです。 • debugging : デバッグ メッセージを指定します。
<i>prio-str</i>	プライオリティ レベルに前に設定したプレフィックス \$ の付いたパラメータ。
msg msg-text	ログに記録するメッセージを指定します。 <i>msg-text</i> には、ストリング、環境変数、または両者の組み合わせを指定できます。ストリングに空白が含まれる場合は二重引用符で囲みます。

デフォルト

なし

コマンド モード

Embedded Event Manager

サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

EEM アプレットから Syslog に書き出されるメッセージは EEM Syslog イベントかどうかチェックされないため、再帰的な EEM Syslog イベントが発生する可能性があります。EEM アプレットから送信されるメッセージには、識別のためアプレット名が含まれています。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、EEM アプレットが起動されたとき、Syslog メッセージを保存するように設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# event manager applet syslog-applet
switch(config-applet)# action 1.7 syslog priority critical msg "Syslog condition: $log"
switch(config-applet)#
```

alert-group

アラート グループに Call Home CLI コマンドを設定するには、**alert-group** コマンドを使用します。アラート グループからコマンドを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
alert-group {All | Configuration | Diagnostic | EEM | Environmental | Inventory | License |
Linecard-Hardware | Supervisor-Hardware | Syslog-group-port | System | Test}
user-def-cmd cli_command
```

```
no alert-group {All | Configuration | Diagnostic | Environmental | Inventory | License |
Linecard-Hardware | Supervisor-Hardware | Syslog-group-port | System | Test}
user-def-cmd cli_command
```

構文の説明

All	Configuration、Diagnostic、EEM、Environmental、Inventory、License、Linecard-Hardware、Supervisor-Hardware、Syslog-group-port、System、および Test の、すべてのアラート グループを指定します。
Configuration	設定に関連するイベントを指定します。
Diagnostic	診断に関連するイベントを指定します。
EEM	EEM に関連するイベントを指定します。
Environmental	電源、ファン、温度に関連するイベントを指定します。
Inventory	インベントリ ステータスに関連するイベントを指定します。
License	ライセンスに関連するイベントを指定します。
Linecard-Hardware	ライン カード ハードウェアに関連するイベントを指定します。
Supervisor-Hardware	スーパーバイザ モジュールに関連するイベントを指定します。
Syslog-group-port	ポート マネージャによって記録された Syslog メッセージに関連するイベントを指定します。
System	ソフトウェアに関連するイベントを指定します。
Test	テストに関連するイベントを指定します。
user-def-cmd cli_command	アラート グループで有効な CLI コマンドを設定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

Call Home コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ip routing** コマンドをコンフィギュレーション アラート グループに追加する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# alert-group Configuration user-def-cmd "show ip routing"
```

関連コマンド

コマンド	説明
callhome	Call Home コンフィギュレーション モードを開始します。
callhome distribute	Call Home コンフィギュレーションの CFS 配信をイネーブルにします。
show callhome destination-profile <i>name</i>	1 つ以上の Call Home 宛先プロファイルを表示します。

